

第49回 大和(ミドリ)の巻



大和(軍艦としては二代目らしい)。日本の造船技術を結集して建造された昭和16年当時世界最大の戦艦であり、46cm砲を備えながらも遂に艦隊決戦を迎えることなく戦没した悲劇の艦。艦名の「大和」は現在の奈良県辺りの旧国名(戦艦には旧国名にちなんだ艦名が付けられる)であると同時にこの日本国そのものを指す言葉でもあります。日本人としては取り上げない訳にはいかないでしょう。まあ実際にはイスカンダルに向かった艦の知識が先行して備わった状態で戦艦大和について学ぶという、史実的に逆な人生を歩みましたか(我々の世代では良くある事です)。日本の技術力の象徴であり日本人の心の拠りどころでもある戦艦大和は当然のことながら人気が高く、星の数ほど模型が売られています(但し、黎明期には「戦艦大和」が商標登録されていた為発売できなかったメーカーもあるらしい)。



キットデータ	
メーカー	ミドリ
スケール	1/1000
当時価格	150円(税抜)

今回紹介するのはミドリ製のモーターライズの大和です。メーカーのミドリは私が模型を始めた頃には既に無くなってしまっておりミドリのマークが入った模型を店頭で見ることもありませんでした。ところが就職してから職場の旅行で訪れた金毘羅さんの参道の土産物店に売られているのを偶然発見し、「こんなところにミドリのプラモデルが」と驚いて購入したものです。とても古いキットですが状態は意外と良く、電池とモーターを用意すれば進水できそうです。説明図は何故か戦艦武蔵のものが入っていましたが(謎)キットの箱には1/1000のスケール表記がなされています。同スケールのイスカンダルに向かった艦と比較しても寸法の違いは殆どなく、発売された時代を考えれば大変真摯に作られていたことが窺えます。